

財務の概要

事業活動収入の約72%を占める主要な収入源である学生生徒納付金については、高等学校の生徒数は増加しているものの、大学を中心とした学生数が減少したことを受け、前年度と比較して2億8千2百万円の減少となりました。学生生徒等納付金以外では、高等学校の生徒数増加に伴い補助金は増加したものの、手数料、寄付金等の減少により前年度比で4千2百万円減少したこともあり、事業活動収入の合計は95億8千3百万円となりました。

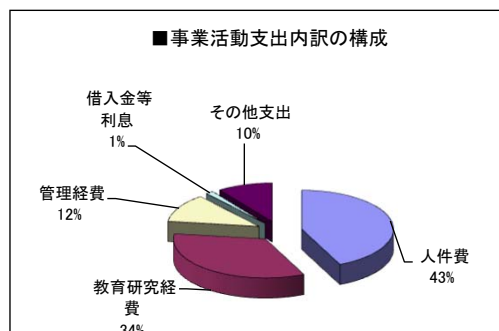
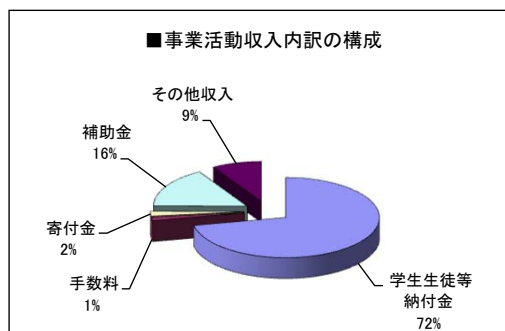
一方、事業活動支出の約43%を占める人件費のうち、退職給与引当金等を除いた教職員人件費は、計画的な人員配置の推進による適正化を行ったことにより、前年度比で1億9千6百万円の減少となりましたが、人件費以外では、特待生支援の拡充等の学生支援の充実による教育研究費の増加、学生確保に向けた募集活動の充実に伴う管理経費の増加、遊休資産の有効活用を推進したこと等による一時的なその他支出の増加等により、前年度比15億4千9百万円増加したこともあり、事業活動支出の合計は123億9千百万円となりました。

今後も引き続き効率的な経費運営と財務の健全化に努め、持続可能な経営基盤の強化を図ってまいります。

事業活動収支計算書

(単位：千円)

事業活動収入の部			事業活動支出の部		
	令和6年度	令和7年度		令和6年度	令和7年度
学生生徒等納付金	6,928,516	6,646,296	人件費	5,612,034	5,350,248
手数料	148,493	131,576	教育研究経費	4,141,308	4,210,334
寄付金	219,155	178,429	管理経費	1,196,321	1,472,459
補助金	1,487,110	1,511,820	借入金等利息	142,592	162,012
その他収入	800,370	791,370	その他支出	18,366	1,203,329
事業活動収入計(A)	9,583,644	9,259,491	事業活動支出計(B)	11,110,621	12,398,382
			基本金組入前当年度 収支差額(C)=(A)-(B)	▲ 1,526,977	▲ 3,138,891
			基本金組入額合計(D)	▲ 292,993	▲ 225,864
			当年度収支差額(C)+(D)	▲ 1,819,970	▲ 3,364,755



貸借対照表

(単位：千円)

	令和6年度	令和7年度		令和6年度	令和7年度
固定資産	70,098,623	67,633,770	固定負債	11,131,858	10,929,427
有形固定資産	68,436,939	65,960,378	流動負債	3,397,980	3,463,169
特定資産	672,000	672,000	基本金	121,242,902	118,199,731
その他固定資産	989,684	1,001,392	翌年度繰越収支差額	▲ 60,616,183	▲ 60,711,904
流動資産	5,057,934	4,246,653			
資産の部合計	75,156,557	71,880,423	負債及び純資産の部合計	75,156,557	71,880,423

資金収支計算書

(単位：千円)

	令和6年度	令和7年度		令和6年度	令和7年度
学生生徒等納付金収入	6,928,516	6,646,296	人件費支出	5,734,366	5,484,725
手数料収入	148,493	131,576	教育研究経費支出	2,792,301	2,958,198
寄付金収入	166,331	168,066	管理経費支出	955,334	1,237,957
補助金収入	1,487,110	1,511,820	借入金等利息支出	142,592	162,012
借入金等収入	0	2,301,745	借入金等返済支出	127,770	2,629,515
前受金収入	1,447,346	1,329,585	その他支出	4,219,042	3,975,026
その他収入	4,197,986	4,444,085			
資金収入調整勘定	▲ 2,113,241	▲ 1,880,435	資金支出調整勘定	▲ 959,767	▲ 953,772
前年度繰越支払資金	5,260,677	4,511,580	翌年度繰越支払資金	4,511,580	3,670,657
収入の部合計	17,523,218	19,164,318	支出の部合計	17,523,218	19,164,318

貸 借 対 照 表

令和 8年 3月31日

(単位 円)

資産の部				
科	目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定資産		67,633,770,696	70,098,622,735	△ 2,464,852,039
有形固定資産		65,960,378,179	68,436,938,863	△ 2,476,560,684
土地		28,903,683,715	29,575,562,355	△ 671,878,640
建物		23,543,245,936	25,241,557,840	△ 1,698,311,904
その他の有形固定資産		13,513,448,528	13,619,818,668	△ 106,370,140
特定資産		671,999,983	671,999,983	0
その他の固定資産		1,001,392,534	989,683,889	11,708,645
流動資産		4,246,652,663	5,057,934,734	△ 811,282,071
現金預金		3,670,657,459	4,511,579,847	△ 840,922,388
その他の流動資産		575,995,204	546,354,887	29,640,317
資産の部合計		71,880,423,359	75,156,557,469	△ 3,276,134,110
負債の部				
科	目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定負債		10,929,426,844	11,131,857,896	△ 202,431,052
長期借入金		8,884,402,000	9,084,402,000	△ 200,000,000
その他の固定負債		2,045,024,844	2,047,455,896	△ 2,431,052
流動負債		3,463,168,782	3,397,980,599	65,188,183
短期借入金		200,000,000	327,770,000	△ 127,770,000
その他の流動負債		3,263,168,782	3,070,210,599	192,958,183
負債の部合計		14,392,595,626	14,529,838,495	△ 137,242,869
純資産の部				
科	目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
基本金		118,199,731,435	121,242,902,126	△ 3,043,170,691
第1号基本金		117,097,181,435	120,140,352,126	△ 3,043,170,691
第3号基本金		257,550,000	257,550,000	0
第4号基本金		845,000,000	845,000,000	0
繰越収支差額		△ 60,711,903,702	△ 60,616,183,152	△ 95,720,550
翌年度繰越収支差額		△ 60,711,903,702	△ 60,616,183,152	△ 95,720,550
純資産の部合計		57,487,827,733	60,626,718,974	△ 3,138,891,241
負債及び純資産の部合計		71,880,423,359	75,156,557,469	△ 3,276,134,110

事業活動収支計算書

令和 7年 4月 1日から

令和 8年 3月31日まで

(単位 円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		学生生徒等納付金	6,743,000,000	6,646,296,162	96,703,838
		手数料	169,000,000	131,576,046	37,423,954
		寄付金	209,000,000	167,886,209	41,113,791
		経常費等補助金	1,478,000,000	1,489,005,051	△ 11,005,051
		国庫補助金	484,200,000	486,914,000	△ 2,714,000
		地方公共団体補助金	993,400,000	1,001,691,051	△ 8,291,051
		若手・女性研究者奨励金	400,000	400,000	0
		付随事業収入	306,000,000	353,028,752	△ 47,028,752
		雑収入	382,000,000	391,552,258	△ 9,552,258
		教育活動収入計	9,287,000,000	9,179,344,478	107,655,522
		事業活動支出の部	科目	予算	決算
	人件費		5,492,000,000	5,350,248,166	141,751,834
	教育研究経費		4,466,000,000	4,210,333,637	255,666,363
	管理経費		1,500,000,000	1,472,459,217	27,540,783
徴収不能額等	0		0	0	
教育活動支出計	11,458,000,000	11,033,041,020	424,958,980		
教育活動収支差額			△ 2,171,000,000	△ 1,853,696,542	△ 317,303,458
教育活動外収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		受取利息・配当金	39,000,000	46,518,178	△ 7,518,178
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	39,000,000	46,518,178	△ 7,518,178
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		借入金等利息	159,000,000	162,011,909	△ 3,011,909
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	159,000,000	162,011,909	△ 3,011,909
	教育活動外収支差額			△ 120,000,000	△ 115,493,731
経常収支差額			△ 2,291,000,000	△ 1,969,190,273	△ 321,809,727
特別収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		資産売却差額	1,000,000	270,283	729,717
		その他の特別収入	41,000,000	33,357,565	7,642,435
		特別収入計	42,000,000	33,627,848	8,372,152
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		資産処分差額	301,000,000	934,999,630	△ 633,999,630
		その他の特別支出	0	268,329,186	△ 268,329,186
		特別支出計	301,000,000	1,203,328,816	△ 902,328,816
特別収支差額			△ 259,000,000	△ 1,169,700,968	910,700,968
科目			予算	決算	差異
〔予備費〕			100,000,000		100,000,000
基本金組入前当年度収支差額			△ 2,650,000,000	△ 3,138,891,241	488,891,241
基本金組入額合計			△ 350,000,000	△ 225,863,644	△ 124,136,356
当年度収支差額			△ 3,000,000,000	△ 3,364,754,885	364,754,885
前年度繰越収支差額			△ 58,796,214,253	△ 58,796,214,253	0
基本金取崩額			1,004,700,000	3,269,034,335	△ 2,264,334,335
翌年度繰越収支差額			△ 60,791,514,253	△ 58,891,934,803	△ 1,899,579,450
(参考)					
事業活動収入計			9,368,000,000	9,259,490,504	108,509,496
事業活動支出計			12,018,000,000	12,398,381,745	△ 380,381,745

資金収支計算書

令和 7年 4月 1日から

令和 8年 3月31日まで

(単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	6,743,000,000	6,646,296,162	96,703,838
手数料収入	169,000,000	131,576,046	37,423,954
寄付金収入	220,000,000	168,066,443	51,933,557
補助金収入	1,503,000,000	1,511,820,051	△ 8,820,051
国庫補助金収入	492,600,000	494,891,000	△ 2,291,000
地方公共団体補助金収入	1,010,000,000	1,016,529,051	△ 6,529,051
若手・女性研究者奨励金収入	400,000	400,000	0
資産売却収入	131,000,000	365,529,758	△ 234,529,758
付随事業・収益事業収入	306,000,000	356,434,945	△ 50,434,945
受取利息・配当金収入	39,000,000	46,518,178	△ 7,518,178
雑収入	503,000,000	500,448,424	2,551,576
借入金等収入	2,302,000,000	2,301,745,000	255,000
前受金収入	1,762,000,000	1,329,584,580	432,415,420
その他の収入	3,272,927,609	3,175,153,994	97,773,615
資金収入調整勘定	△ 1,747,346,000	△ 1,880,434,989	133,088,989
前年度繰越支払資金	4,511,579,847	4,511,579,847	
収入の部合計	19,715,161,456	19,164,318,439	550,843,017

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	5,640,000,000	5,484,725,241	155,274,759
教育研究経費支出	3,133,000,000	2,958,198,044	174,801,956
管理経費支出	1,240,000,000	1,237,956,922	2,043,078
借入金等利息支出	159,000,000	162,011,909	△ 3,011,909
借入金等返済支出	2,630,000,000	2,629,515,000	485,000
施設関係支出	130,000,000	163,695,700	△ 33,695,700
設備関係支出	142,000,000	121,771,823	20,228,177
資産運用支出	27,000,000	26,215,100	784,900
その他の支出	3,827,539,196	3,663,343,070	164,196,126
〔予備費〕	100,000,000		100,000,000
資金支出調整勘定	△ 1,128,245,328	△ 953,771,829	△ 174,473,499
翌年度繰越支払資金	3,814,867,588	3,670,657,459	144,210,129
支出の部合計	19,715,161,456	19,164,318,439	550,843,017

活動区分資金収支計算書

令和 7年 4月 1日から

令和 8年 3月31日まで

(単位 円)

	科 目		金額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	6,646,296,162
		手数料収入	131,576,046
		特別寄付金収入	80,237,568
		一般寄付金収入	86,816,875
		経常費等補助金収入	1,489,005,051
		付随事業収入	356,434,945
		雑収入	500,448,424
		教育活動資金収入計	9,290,815,071
	支出	人件費支出	5,484,725,241
		教育研究経費支出	2,958,198,044
		管理経費支出	1,237,956,922
		教育活動資金支出計	9,680,880,207
		差引	△ 390,065,136
		調整勘定等	△ 151,097,673
		教育活動資金収支差額	△ 541,162,809
施設整備等活動による資金収支	科 目		金額
	収入	施設設備寄付金収入	1,012,000
		施設設備補助金収入	22,815,000
		施設設備売却収入	365,529,758
		施設整備等活動資金収入計	389,356,758
	支出	施設関係支出	163,695,700
		設備関係支出	121,771,823
		施設整備等活動資金支出計	285,467,523
		差引	103,889,235
		調整勘定等	66,986,750
		施設整備等活動資金収支差額	170,875,985
		小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 370,286,824
その他の活動による資金収支	科 目		金額
	収入	借入金等収入	2,301,745,000
		預り金受入収入	2,702,858,885
		小計	5,004,603,885
		受取利息・配当金収入	46,518,178
		その他の活動資金収入計	5,051,122,063
	支出	借入金等返済支出	2,629,515,000
		保険積立金支出	26,215,100
		預り金支払支出	2,628,133,004
		立替金支払支出	75,999,014
		小計	5,359,862,118
		借入金等利息支出	162,011,909
		その他の活動資金支出計	5,521,874,027
		差引	△ 470,751,964
		調整勘定等	116,400
		その他の活動資金収支差額	△ 470,635,564
		支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 840,922,388
		前年度繰越支払資金	4,511,579,847
		翌年度繰越支払資金	3,670,657,459

資金収支計算書

令和 7年 4月 1日から

令和 8年 3月31日まで

(単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	6,743,000,000	6,646,296,162	96,703,838
手数料収入	169,000,000	131,576,046	37,423,954
寄付金収入	220,000,000	168,066,443	51,933,557
補助金収入	1,503,000,000	1,511,820,051	△ 8,820,051
国庫補助金収入	492,600,000	494,891,000	△ 2,291,000
地方公共団体補助金収入	1,010,000,000	1,016,529,051	△ 6,529,051
若手・女性研究者奨励金収入	400,000	400,000	0
資産売却収入	131,000,000	365,529,758	△ 234,529,758
付随事業・収益事業収入	306,000,000	356,434,945	△ 50,434,945
受取利息・配当金収入	39,000,000	46,518,178	△ 7,518,178
雑収入	503,000,000	500,448,424	2,551,576
借入金等収入	2,302,000,000	2,301,745,000	255,000
前受金収入	1,762,000,000	1,329,584,580	432,415,420
その他の収入	3,272,927,609	3,175,153,994	97,773,615
資金収入調整勘定	△ 1,747,346,000	△ 1,880,434,989	133,088,989
前年度繰越支払資金	4,511,579,847	4,511,579,847	
収入の部合計	19,715,161,456	19,164,318,439	550,843,017

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	5,640,000,000	5,484,725,241	155,274,759
教育研究経費支出	3,133,000,000	2,958,198,044	174,801,956
管理経費支出	1,240,000,000	1,237,956,922	2,043,078
借入金等利息支出	159,000,000	162,011,909	△ 3,011,909
借入金等返済支出	2,630,000,000	2,629,515,000	485,000
施設関係支出	130,000,000	163,695,700	△ 33,695,700
設備関係支出	142,000,000	121,771,823	20,228,177
資産運用支出	27,000,000	26,215,100	784,900
その他の支出	3,827,539,196	3,663,343,070	164,196,126
〔予備費〕	100,000,000		100,000,000
資金支出調整勘定	△ 1,128,245,328	△ 953,771,829	△ 174,473,499
翌年度繰越支払資金	3,814,867,588	3,670,657,459	144,210,129
支出の部合計	19,715,161,456	19,164,318,439	550,843,017

活動区分資金収支計算書

令和 7年 4月 1日から
令和 8年 3月31日まで

(単位 円)

		科 目	金額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	6,646,296,162
		手数料収入	131,576,046
		特別寄付金収入	80,237,568
		一般寄付金収入	86,816,875
		経常費等補助金収入	1,489,005,051
		付随事業収入	356,434,945
		雑収入	500,448,424
		教育活動資金収入計	9,290,815,071
	支出	人件費支出	5,484,725,241
		教育研究経費支出	2,958,198,044
		管理経費支出	1,237,956,922
		教育活動資金支出計	9,680,880,207
		差引	△ 390,065,136
		調整勘定等	△ 151,097,673
		教育活動資金収支差額	△ 541,162,809
施設整備等活動による資金収支	科 目		金額
	収入	施設設備寄付金収入	1,012,000
		施設設備補助金収入	22,815,000
		施設設備売却収入	365,529,758
		施設整備等活動資金収入計	389,356,758
	支出	施設関係支出	163,695,700
		設備関係支出	121,771,823
		施設整備等活動資金支出計	285,467,523
		差引	103,889,235
		調整勘定等	66,986,750
		施設整備等活動資金収支差額	170,875,985
		小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 370,286,824
その他の活動による資金収支	科 目		金額
	収入	借入金等収入	2,301,745,000
		預り金受入収入	2,702,858,885
		小計	5,004,603,885
		受取利息・配当金収入	46,518,178
		その他の活動資金収入計	5,051,122,063
	支出	借入金等返済支出	2,629,515,000
		保険積立金支出	26,215,100
		預り金支払支出	2,628,133,004
		立替金支払支出	75,999,014
		小計	5,359,862,118
		借入金等利息支出	162,011,909
		その他の活動資金支出計	5,521,874,027
		差引	△ 470,751,964
		調整勘定等	116,400
		その他の活動資金収支差額	△ 470,635,564
		支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 840,922,388
		前年度繰越支払資金	4,511,579,847
		翌年度繰越支払資金	3,670,657,459

注記

1. 引当金の計上基準その他の計算書類の作成に関する重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

徴収不能引当金

… 金銭債権の徴収不能に備えるため、一般債権については徴収不能実績率等により、徴収不能懸念債権については個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。

退職給与引当金

… 私立大学退職金財団に加入している法人、大学及び専門学校の教職員に係る退職給与引当金については、期末要支給額 2,157,161,200円の100%を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累計額と交付金の累積額との繰入れ調整額を加減した金額を計上している。また、私立大学退職金財団・私学退職金団体のどちらにも加入していない教職員に係る退職給与引当金については、期末要支給額 23,471,696円を計上している。私学退職金団体に加入している高等学校以下の教職員に係る退職給与引当金については、期末要支給額 668,411,880円が、私学退職金団体よりの交付金と同額であるため、退職給与引当金は計上していない。

賞与引当金

… 教職員に対する賞与の支給に備えるため、当年度に負担すべき支給見込額を計上している。

(2) その他の重要な会計方針

有価証券の評価基準及び評価方法

… 移動平均法に基づく原価法である。

たな卸資産の評価基準及び評価方法

… 最終仕入原価法である。

外貨建資産の本邦通貨への換算基準

… 外貨建預金については、期末時の為替相場により円換算している。

預り金その他経過項目に係る収支の表示方法

… 立替金に係る収入と支出は相殺して表示している。

食堂その他教育活動に付随する活動に係る収支の表示方法

… 補助活動に係る収支は純額で表示している。

2. 重要な会計方針の変更等

当年度から、学校法人会計基準の一部を改正する省令(令和6年文部科学省令第28号)に基づく改正後の学校法人会計基準(昭和46年文部省令第18号)を適用し、計算書類及び附属明細書の様式を変更している。

賞与引当金の計上

学校法人会計基準の改正により、引当金の計上基準が明確化されたことに伴い、当年度から計上している。これにより期首に計上すべき額として特別収支に268,329,186円を計上し、当年度に賞与として支給した額から特別収支の計上額を除いた額及び支給は翌年度であるが当年度の支給対象期間に相応する額として、人件費に831,987,711円を計上している。この結果、従来の方法と比較して教育活動収支差額、経常収支差額が9,356,957円増加し、基本金組入前当年度収支差額が258,972,229円減少している。

3. 固定資産の減価償却額の累計額の合計額 59,709,367,175円

4. 金銭債権の徴収不能引当金の合計額 0円

5. 担保に供されている資産の種類及び額

担保に供されている資産の種類及び額は、次のとおりである。

土地	23,656,177,981円
建物	49,916,139,387円
定期預金	1,100,000,000円

6. 翌会計年度以降の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額 2,620,731,794円

7. 当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策 第4号基本金に相当する資金を有しており、該当しない。

8. セグメント情報

(単位:円)

	大学・短大	幼稚園・小学校・ 中学校・高等学校・ 専門学校	その他	合計
教育活動収入計	6,221,661,540	2,917,407,576	40,275,362	9,179,344,478
教育活動支出計	7,431,278,574	2,905,742,308	696,020,138	11,033,041,020
教育活動収支差額	△ 1,209,617,034	11,665,268	△ 655,744,776	△ 1,853,696,542
教育活動外収支差額	△ 50,089,931	15,103,827	△ 80,507,627	△ 115,493,731
経常収支差額	△ 1,259,706,965	26,769,095	△ 736,252,403	△ 1,969,190,273
特別収支差額	△ 1,101,931,371	△ 53,597,395	△ 14,172,202	△ 1,169,700,968
基本金組入前当年度収支差額	△ 2,361,638,336	△ 26,828,300	△ 750,424,605	△ 3,138,891,241
基本金組入額合計	0	△ 216,673,610	△ 9,190,034	△ 225,863,644
当年度収支差額	△ 2,361,638,336	△ 243,501,910	△ 759,614,639	△ 3,364,754,885

- (注) 1. セグメント情報は拠点区分別(設置学校・附属施設別)の収支情報内訳を示すものであり、理事会が運営資源の配分の決定及び業績を評価すること等を目的とした財務情報ではない。
2. 各セグメントの主な区分方法は、拠点区分に応じて「大学・短大」「幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校」「その他」に区分している。
「大学・短大」には、聖徳大学、聖徳大学短期大学部を含んでいる。
「幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校」には、聖徳大学附属幼稚園、聖徳大学附属第二幼稚園、聖徳大学附属成田幼稚園、聖徳大学附属浦安幼稚園、聖徳大学三田幼稚園、聖徳大学八王子幼稚園、聖徳大学多摩幼稚園、聖徳大学附属小学校、光英VERITAS中学校、聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校、光英VERITAS高等学校、聖徳大学幼児教育専門学校を含んでいる。
「その他」には、学校法人部門を含んでいる。
3. 収入又は支出のセグメントへの主な計上方法は、「資金収支内訳表等の部門別計上及び配分について」(昭和55年11月4日文部省管理局長通知)に記載の計上方法を採用している。

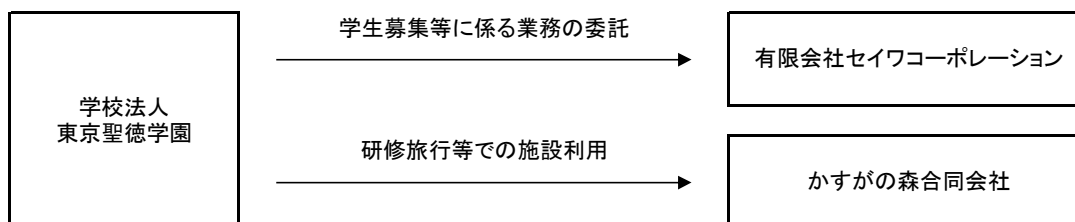
9. 重要な偶発債務 なし

10. 子法人に関する事項

(1) 子法人の概要

子法人の 名称	事業内容	資本金の額	学校法人の出資金 額等及び当該会社 の総株式等に占め る割合並びに当該 株式等の入手日	議決権 の所有 割合	役員の兼任等	他の注記事項等の関係		
						出資 会社	関連 当事者	学校法人間 取引
有限会社 セイワコー ポレーション	広告代理業 人材派遣業	13,000,000円	平成25年3月27日 10,000,000円 200株 総出資金額に占め る割合 76.9%	76.9%	兼任2人 代表取締役社 長 (学園事務局長) 監査役 (保常勤監事)	関係 あり	—	—
かすがの 森 合同会社	宿泊施設経営	8,000,000円	平成25年7月3日 8,000,000円 総出資金額に占め る割合 100%	100%	兼任1人 職務執行者 (経理部次長)	関係 あり	—	—

(2) 学校法人と子法人の取引の関連図



(3) 子法人との取引の状況

子法人の名称	取引の内容	取引金額	勘定科目	期末残高
有限会社 セイワコーポレーション	学生募集等に係る業務の委託	4,869,515円	消耗品費	512,640円
		3,368,329円	通信運搬費	0円
		128,587,948円	印刷製本費	39,428,489円
		276,668,809円	広告費	40,799,905円
		128,599,739円	報酬委託手数料	23,810,752円
		608,666円	賃借料	161,333円
		66,000円	保守衛生費	0円
		20,814,270円	補助活動費	5,505,500円
		19,455,480円	預り金	978,780円
かすがの森 合同会社	研修旅行等での施設利用	—	—	—

(4) 子法人の債務に係る保証債務

学校法人は子法人について債務保証を行っていない。

11. 学校法人の出資による会社に係る事項

当該学校法人の出資割合が総出資額の2分の1以上である会社の状況は次のとおりである。

(1) 当該会社の概要

法人の名称	事業内容	資本金の額	学校法人の出資金額及び当該会社の総株式等に占める割合並びに当該株式等の入手日	他の注記事項との関係	
				子法人	関連当事者
有限会社 セイワコーポレーション	省略	省略	省略	関係あり	—
かすがの森 合同会社	省略	省略	省略	関係あり	—

(2) 当期中に学校法人が当該会社から受け入れた配当及び寄附の金額並びにその他の取引の額

法人の名称	取引の内容	取引金額	勘定科目	期末残高
有限会社 セイワコーポレーション	省略			
かすがの森 合同会社	省略			

12. 関連当事者との取引内容に関する事項 なし

13. 学校法人間の財務取引 なし

14. 重要な後発事象 なし

15. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

(1) 有価証券の時価情報

① 総括表

(単位 円)

種類	勘定科目	当年度(令和8年3月31日)		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	退職給与引当特定資産	236,379,877	822,747,900	586,368,023
(うち満期保有目的の債券)		(0)	(0)	(0)
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	退職給与引当特定資産	14,966,106	13,102,800	△ 1,863,306
(うち満期保有目的の債券)		(0)	(0)	(0)
合 計	退職給与引当特定資産	251,345,983	835,850,700	584,504,717
(うち満期保有目的の債券)		(0)	(0)	(0)
時価のない有価証券	第3号基本金引当特定資産	250,000,000		
	退職給与引当特定資産	161,004,000		
	有価証券	288,996,000		
第3号基本金引当特定資産 合計		250,000,000		
退職給与引当特定資産 合計		412,349,983		
有価証券 合計		288,996,000		

② 明細表

(単位 円)

種類	勘定科目	当年度(令和8年3月31日)		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額
債券	—	—	—	—
株式	退職給与引当特定資産	251,345,983	835,850,700	584,504,717
投資信託	—	—	—	—
貸付信託	—	—	—	—
その他	—	—	—	—
合 計	退職給与引当特定資産	251,345,983	835,850,700	584,504,717
時価のない有価証券	第3号基本金引当特定資産	250,000,000		
	退職給与引当特定資産	161,004,000		
	有価証券	288,996,000		
	第3号基本金引当特定資産 合計	250,000,000		
	退職給与引当特定資産 合計	412,349,983		
	有価証券 合計	288,996,000		

(2) デリバティブ取引

デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益

(単位 円)

対象物	種類	当年度(令和8年3月31日)			
		契約額等	契約額等のうち1年超	時 価	評価損益
金利スワップ取引	受取変動・支払固定	3,260,000,000	3,120,000,000	3,281,985,320	21,985,320
合 計		3,260,000,000	3,120,000,000	3,281,985,320	21,985,320

(注1) 上記、金利スワップ取引は将来の金利の変動によるリスク回避を目的としている。

(注2) 時価の算定方法 …… 取引銀行から提示された価格によっている。

(3) 主な外貨建資産

(単位 円)

科目	外貨額	貸借対照表計上額	年度末日の為替相場による円換算額	換算差額
普通預金	米ドル 4,179.18	663,277	663,277	0

(4) 所有権移転外ファイナンス・リース取引(平成10年4月以降締結分)

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リースは次のとおりである。

平成21年4月1日以降に開始したリース取引

(単位 円)

リース資産の種類	リース料総額	未経過リース料期末残高
教育研究用機器備品	3,325,080	825,616

(5) 純額で表示した補助活動に係る収支

純額で表示した補助活動に係る収支の相殺した科目及び金額は次のとおりである。

(単位 円)

支 出	金 額	収 入	金 額
補助活動支出(原価)	683,188,040	補助活動収入(売上高)	1,022,208,977
計	683,188,040	計	1,022,208,977
純 額			339,020,937

固 定 資 産 明 細 書

令和 7年 4月 1日から

令和 8年 3月31日まで

(単位 円)

科 目		期 首 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	期 末 残 高	減価償却額の累計額	差引期末残高	摘 要
有形固定資産	土 地	29,575,562,355	0	671,878,640	28,903,683,715		28,903,683,715	
	建 物	74,143,176,141	162,893,800	2,941,574,431	71,364,495,510	47,821,249,574	23,543,245,936	
	構 築 物	3,272,185,025	801,900	0	3,272,986,925	3,163,532,261	109,454,664	
	教育研究用機器備品	10,300,878,082	112,982,623	47,073,493	10,366,787,212	7,268,541,722	3,098,245,490	
	管 理 用 機 器 備 品	2,194,203,025	11,791,854	315,000	2,205,679,879	1,035,543,711	1,170,136,168	
	図 書	9,118,030,692	6,527,911	1,115,562	9,123,443,041	0	9,123,443,041	
	車 両	177,790,784	0	0	177,790,784	165,621,619	12,169,165	
	建 設 仮 勘 定	0	0	0	0		0	
	計	128,781,826,104	294,998,088	3,661,957,126	125,414,867,066	59,454,488,887	65,960,378,179	
特定資産	第3号基本金引当特定資産	257,550,000	0	0	257,550,000	0	257,550,000	
	退職給与引当特定資産	414,449,983	0	0	414,449,983	0	414,449,983	
	計	671,999,983	0	0	671,999,983	0	671,999,983	
	その他の固定資産							
その他の固定資産	電 話 加 入 権	6,488,548	0	0	6,488,548	0	6,488,548	
	施 設 利 用 権	64,820,192	0	0	64,820,192	64,820,192	0	
	有 価 証 券	288,996,000	0	0	288,996,000	0	288,996,000	
	出 資 金	105,740,601	0	0	105,740,601	0	105,740,601	
	保 険 積 立 金	521,368,700	26,215,100	0	547,583,800	0	547,583,800	
	預 託 金	429,980	0	0	429,980	0	429,980	
	ソ フ ト ウ ェ ア	242,211,701	0	0	242,211,701	190,058,096	52,153,605	
	計	1,230,055,722	26,215,100	0	1,256,270,822	254,878,288	1,001,392,534	
合 計		130,683,881,809	321,213,188	3,661,957,126	127,343,137,871	59,709,367,175	67,633,770,696	

1. 土 地	減少額	寄宿舎敷地売却等	671,878,640	5. 管理用機器備品	増加額	ノートパソコン等	11,791,854
2. 建 物	増加額	小学校校舎附属設備取替等	162,893,800		減少額	無停電装置	315,000
	減少額	寄宿舎売却等	834,559,625	6. 図 書	増加額	教育研究用図書	6,229,934
	減少額	建物有姿除却	2,107,014,806		増加額	現物寄付学術資料等	297,977
3. 構 築 物	増加額	遊具等	801,900		減少額	教育研究用図書	1,115,562
4. 教育研究用機器備品	増加額	図書館自動書庫管理機等	103,750,035	7. 保 険 積 立 金	増加額	長期保険契約	26,215,100
	増加額	現物寄付障がい者車いす等	9,232,588				
	減少額	パソコン等	47,073,493				

借 入 金 明 細 書

令和 7年 4月 1日から
令和 8年 3月 31日まで

(単位 円)

借 入 先		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	返済期限	摘 要
長期 借入 金	公 的 金 融 機 関	0	0	0	0		
	市 中 金 融 機 関	9,084,402,000	※1 2,301,745,000	※1 2,301,745,000 ※2 200,000,000	8,884,402,000	24. 11. 30	三田用地・松戸校舎・運転資金 三田・松戸・取手、土地及び建物、定期預金
	そ の 他	0	0	0	0		
	計	9,084,402,000	※1 2,301,745,000	※1 2,301,745,000 ※2 200,000,000	8,884,402,000		
短期 借入 金	公 的 金 融 機 関	0	0	0	0		
	市 中 金 融 機 関	0	0	0	0		
	そ の 他	0	0	0	0		
	小 計	0	0	0	0		
	返済期限が1年以内 の長期借入金	327,770,000	※2 200,000,000	327,770,000	200,000,000		
	計	327,770,000	※2 200,000,000	327,770,000	200,000,000		
合 計		9,412,172,000	※1 2,301,745,000 0 ※2 200,000,000	※1 2,301,745,000 327,770,000 ※2 200,000,000	9,084,402,000		

※1 は約定変更に伴う振替額である。

※2 は1年以内返済の振替額である。

基 本 金 明 細 書

令和 7年 4月 1日から
令和 8年 3月 31日まで

(単位 円)

事 項	要 組 入 高	組 入 高	未 組 入 高	摘 要
第1号 基本金				
前期繰越高	123,093,137,384	120,140,352,126	2,952,785,258	
当期組入高				
法人				
1. 管理用機器備品	5,435,910	9,190,034	△ 3,754,124	
計	5,435,910	9,190,034	△ 3,754,124	
聖徳大学幼児教育専門学校				
1. 教育研究用機器備品	293,106	0	293,106	
計	293,106	0	293,106	
光英VERITAS高等学校				
1. 建 物	0	38,355,832	△ 38,355,832	
2. 教育研究用機器備品	12,806,400	12,672,680	133,720	
3. 管理用機器備品	351,051	351,051	0	
4. 図 書	10,367	10,367	0	
計	13,167,818	51,389,930	△ 38,222,112	
聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校				
1. 教育研究用機器備品	3,465,000	0	3,465,000	
計	3,465,000	0	3,465,000	
光英VERITAS中学校				
1. 建 物	0	31,721,844	△ 31,721,844	
2. 教育研究用機器備品	11,836,818	10,560,998	1,275,820	
3. 管理用機器備品	226,824	226,824	0	
4. 図 書	9,652	9,652	0	
計	12,073,294	42,519,318	△ 30,446,024	
聖徳大学附属小学校				
1. 建 物	0	24,373,324	△ 24,373,324	
2. 構築物	96,800	96,800	0	
3. 教育研究用機器備品	2,486,000	2,651,000	△ 165,000	
4. 管理用機器備品	145,900	0	145,900	
5. 図 書	242,825	273,128	△ 30,303	
計	2,971,525	27,394,252	△ 24,422,727	
聖徳大学附属幼稚園				
1. 教育研究用機器備品	4,051,760	267,760	3,784,000	
2. 管理用機器備品	484,000	484,000	0	
3. 車 両	0	2,148,960	△ 2,148,960	
計	4,535,760	2,900,720	1,635,040	
聖徳大学附属第二幼稚園				
1. 教育研究用機器備品	631,900	631,900	0	
2. 車 両	0	2,148,960	△ 2,148,960	
計	631,900	2,780,860	△ 2,148,960	
聖徳大学附属成田幼稚園				
1. 教育研究用機器備品	133,880	133,880	0	
計	133,880	133,880	0	
聖徳大学附属浦安幼稚園				
1. 教育研究用機器備品	200,820	200,820	0	
計	200,820	200,820	0	
聖徳大学三田幼稚園				
1. 土 地	0	86,505,000	△ 86,505,000	
2. 教育研究用機器備品	748,380	1,034,380	△ 286,000	
計	748,380	87,539,380	△ 86,791,000	

聖徳大学八王子幼稚園				
1. 構築物	705,100	705,100	0	
2. 教育研究用機器備品	983,950	983,950	0	
計	1,689,050	1,689,050	0	
聖徳大学多摩幼稚園				
1. 教育研究用機器備品	125,400	125,400	0	
計	125,400	125,400	0	
計	45,471,843	225,863,644	△ 180,391,801	
当期取崩高				
聖徳大学				
1. 土地	△ 624,847,135	△ 624,847,135	0	
2. 建物	△ 2,605,812,691	△ 2,446,013,767	△ 159,798,924	
3. 教育研究用機器備品	44,427,656	19,115,537	25,312,119	
4. 管理用機器備品	443,926	5,850,166	△ 5,406,240	
5. 図書	3,698,302	3,713,956	△ 15,654	
計	△ 3,182,089,942	△ 3,042,181,243	△ 139,908,699	
聖徳大学短期大学部				
1. 土地	△ 47,031,505	△ 47,031,505	0	
2. 建物	△ 196,136,440	△ 184,108,564	△ 12,027,876	
3. 教育研究用機器備品	3,077,272	1,668,864	1,408,408	
4. 管理用機器備品	33,414	701,602	△ 668,188	
5. 図書	1,451,203	1,916,511	△ 465,308	
計	△ 238,606,056	△ 226,853,092	△ 11,752,964	
計	△ 3,420,695,998	△ 3,269,034,335	△ 151,661,663	
当期末残高	119,717,913,229	117,097,181,435	2,620,731,794	
第3号 基本金				
前期繰越高	-	257,550,000	-	
当期末残高	-	257,550,000	-	
第4号 基本金				
前期繰越高	845,000,000	845,000,000	0	
当期末残高	845,000,000	845,000,000	0	
合計				
前期繰越高	-	121,242,902,126	2,952,785,258	
当期組入高	-	225,863,644		
当期取崩高	-	△ 3,269,034,335		
当期末残高	-	118,199,731,435	2,620,731,794	

財 産 目 録

科 目	令和8年3月31日現在	
一 資産額		
(一) 基本財産		
1 土地(団地)		
(1) 校地	240,853.52 m ²	25,093,480,465 円
(2) 運動場	32,238.00 m ²	462,524,333 円
(3) その他	57,200.16 m ²	3,347,678,917 円
2 建物		
(1) 校舎	188,030.61 m ²	21,605,177,450 円
(2) その他	23,369.57 m ²	1,938,068,486 円
3 教具・校具・備品	187,552 点	4,268,381,658 円
4 図書	699,977 冊	9,123,443,041 円
5 その他		173,777,434 円
(二) 運用財産		
1 現金預金		3,670,657,459 円
2 積立金		
(1) 第3号基本金引当特定資産		257,550,000 円
(2) その他		962,033,783 円
3 その他		977,650,333 円
合 計		71,880,423,359 円
二 負債額		
(一) 固定負債		
1 長期借入金		8,884,402,000 円
2 長期未払金		71,694,810 円
3 退職給与引当金		1,973,330,034 円
(二) 流動負債		
1 短期借入金		200,000,000 円
2 未払金		904,560,689 円
3 前受金		1,329,584,580 円
4 その他		1,029,023,513 円
合 計		14,392,595,626 円

独立監査人の監査報告書

令和8年6月8日

学校法人東京聖徳学園
理事会 御中

監査法人アンビシヤス
東京都台東区

代表社員
業務執行社員 公認会計士

代表社員
業務執行社員 公認会計士

金津 昭博
、 月中 昭仁

<計算関係書類監査>

計算関係書類に対する監査意見

当監査法人は、私立学校法第104条第2項に基づき、学校法人東京聖徳学園の令和7年度（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）の計算関係書類（計算書類、すなわち貸借対照表、事業活動収支計算書、資金収支計算書、活動区分資金収支計算書、重要な会計方針、その他の注記及びその附属明細書をいう。以下同じ。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算関係書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる学校法人会計の基準に準拠して、当該計算関係書類に係る期間の財産及び収支の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

計算関係書類に対する監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算関係書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告書及びその附属明細書並びに財産目録のうち意見の対象とされていない部分である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の計算関係書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算関係書類の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算関係書類又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

計算関係書類に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる学校法人会計の基準に準拠して計算関係書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算関係書類を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算関係書類を作成するに当たり、理事者は、継続法人の前提に基づき計算関係書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる学校法人会計の基準に基づいて継続法人に関する事項を開示する必要がある場合には、当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

計算関係書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算関係書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算関係書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算関係書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算関係書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのもの

ではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。

- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続法人を前提として計算関係書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続法人の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続法人の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算関係書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算関係書類の注記事項が適切でない場合は、計算関係書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続法人として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算関係書類の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる学校法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算関係書類の表示、構成及び内容、並びに計算関係書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

<財産目録に対する意見>

財産目録に対する監査意見

当監査法人は、私立学校法第 86 条第 1 項及び私立学校法施行規則第 24 条に基づき、学校法人東京聖徳学園の令和 8 年 3 月 31 日現在の令和 7 年度（令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで）の財産目録（貸借対照表に対応する項目に限る。以下同じ。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財産目録が、全ての重要な点において、我が国において一般に公正妥当と認められる学校法人会計の基準に準拠しており、貸借対照表と整合して作成されているものと認める。

財産目録に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる学校法人会計の基準に準拠するとともに、貸借対照表と整合して作成することにある。

監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

財産目録に対する監査における監査人の責任

監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる学校法人会計の基準に準拠しており、貸借対照表と整合しているかについて意見を表明することにある。

利害関係

法人と当監査法人との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

監査報告書

学校法人東京聖徳学園

理 事 会 御 中
評 議 員 会 御 中

学校法人東京聖徳学園

監 事

神本 忠夫

監 事

末廣 敬邦

監 事

山口 豊雄

私たち監事は、私立学校法第52条第1項及び学校法人東京聖徳学園（以下「法人」という。）寄附行為第29条に基づき、令和7年度（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）の法人の業務及び財産の状況並びに理事の職務の執行状況に関し、監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

- (1) 理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。
- (2) 事業報告書に記載されている理事の職務の執行が、法令及び寄附行為に適合することを確保するための体制、その他学校法人の業務の適正を確保するために必要なものとして私立学校法施行規則第13条各号に掲げる体制の整備に関する理事会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、理事及び職員等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
- (3) 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「会計監査人の職務の遂行に関する事項」（私立学校法施行規則第37条各号に掲げる事項）の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。
以上の方法に基づき、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）並びに財産目録について検討しました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告書等の監査結果

- ① 事業報告書及びその附属明細書は、法令及び寄附行為に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はありません。
- ③ 内部統制システムに関する理事会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告書の記載内容及び理事の職務の執行についても、指摘すべき事項はありません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

会計監査人である監査法人アンビシャスの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

以上

参 考 情 報

学校法人会計の特徴

学校法人は、学校を運営し、教育・研究活動を遂行することで、人材を育成するとともに研究活動を社会に還元することが目的であり、企業のように営利を目的とすることはできません。したがって学校会計は、教育研究活動が円滑に遂行されたか否かを計算書類によって財務面から知ることができるのに対し、企業会計は、営業成績を損益計算書で表わし、当該年度の収支を明確化し、収益力を高めることに役立てようとするものです。

国または地方公共団体から補助金の交付を受ける学校法人は、「学校法人会計基準」に従い会計処理を行い、①貸借対照表、②事業活動収支計算書、③資金収支計算書、④活動区分資金収支計算書の各計算書類の作成が義務付けられています。

①貸借対照表は、当該年度末における資産・負債・純資産（資産と負債の差額）を把握し、学校法人の財政状況を表わすものであり、企業会計でいう貸借対照表の様式に類似した計算書類です。

②事業活動収支計算書は、当該会計年度の事業活動収支を明らかにし、事業活動収入と事業活動支出の均衡の状態を確認するものであり、企業会計でいう損益計算書に類似した計算書です。

なお、事業活動収入とは、学校法人の負債とならない収入であり、事業活動支出とは、資産・借入金の返済・積立金など資本的支出に充てる額を除いた支出です。

③資金収支計算書は、当該会計年度における全ての資金の動きを記録することによって、収入と支出の内容を明らかにし、支払資金のてん末を表わすものです。

④活動区分資金収支計算書は、現金預金の流れを「教育活動による資金収支」、「施設設備等活動による資金収支」、「その他の活動による資金収支」の3つの活動に区分して表示し、活動ごとの資金の流れをより明確にしたものです。これは、企業会計でいうキャッシュ・フロー計算書に類似した計算書です。